

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 体に必要な栄養素の種類と主な働き、食品の栄養的な特徴、料理や食品を組み合わせてとる必要があること、献立を作成する要素、1食分の献立作成の方法を理解する。
- (思、判、表等) 1食分の献立の栄養のバランスについて問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (学びに向かう力等) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

ICT活用のポイント

- 学習支援ソフトの共有機能を使い、献立のデータを作り直したり、共有し良さや改善点を交流したりして、考えを比較する。
- ウェブ会議用ソフトを使い、共同調理場の栄養教諭から給食の献立作りの工夫についてオンラインで話を聞き、考えを深める。

事例の概要

本時のめあて「家族が喜ぶ献立を作成するために大切なことは何か」を解決するための見通しをもつ

①前時に作成した1食分の献立の工夫点や疑問点について交流する

②栄養教諭から、給食の献立作りの工夫についてオンラインで話を聞く

③学習を振り返り、自分が大切にしたいことを精査し、献立を改善する

【事例におけるICT活用の場面①】

学習支援ソフトのシートで作成した1食分の献立を班で共有し、工夫点や疑問点を交流し、新たな着眼点を見出したり友達に助言したりする。

【事例におけるICT活用の場面②】

ウェブ会議用ソフトを使って、栄養教諭から給食の献立作りの工夫についてオンラインで話を聞き、さまざまな着眼点があることに気づいたり、考えを深めたりする。

【事例におけるICT活用の場面③】

本時の学習を振り返り、自分が大切にしたいことは何かを精査し、献立の改善を行う。その際、栄養教諭に質問したり助言をもらったりする。

【家庭科・小6・「こんだてを工夫して」②】

【ICT活用の場面①「班で交流する」】 <学習支援ソフト・共有>



Aさんの工夫点の「色どり」も、大切だね。苦手な野菜をどうしたら増やせるかな。

- ・個人で考えた献立と工夫点や疑問点を記述したワークシートを班ごとに共有する。ワークシートを資料として示しながら、わかりやすく伝えることができる。
- ・班でまとめた着眼点（大切なこと）を全体で共有し、意図的な指名によって考えを深められる。

【ICT活用の場面②「栄養教諭の話聞く」】 <ウェブ会議・深化>



成長期に大切な栄養素があるんだな。野菜の調理法や味付けを工夫するといいんだな。

- ・栄養教諭から、給食の献立作りについての工夫や思いを聞くことで、より専門的・体験的に学びを深めることができる。
- ・栄養教諭の話の録画し、市内の家庭科主任会のフォルダに保存することで、他の学校でも同じ教材を活用できる。

【ICT活用の場面③「まとめ振り返る」】 <学習支援ソフト・深化、蓄積>

(3) 班 こんだてを作成するために大切なこと

好き嫌い

栄養

組み合わせ

味付け・硬さ・形

家族の要望を聞く

5大栄養素

季節にあったもの

色合い

見た目

我が家の家族が喜ぶ献立には、味付けを工夫して苦手な野菜をおいしく食べられるようにしよう。

- ・学習を振り返り、着眼点を精査し自分の献立を改善する。その際、ICT端末に蓄積した家族のインタビューカード・給食の献立表やインターネット検索等、必要な資料を簡単に閲覧することができる。疑問点は栄養教諭にオンラインで聞くこともできる。
- ・データは蓄積し評価に生かすことができる。